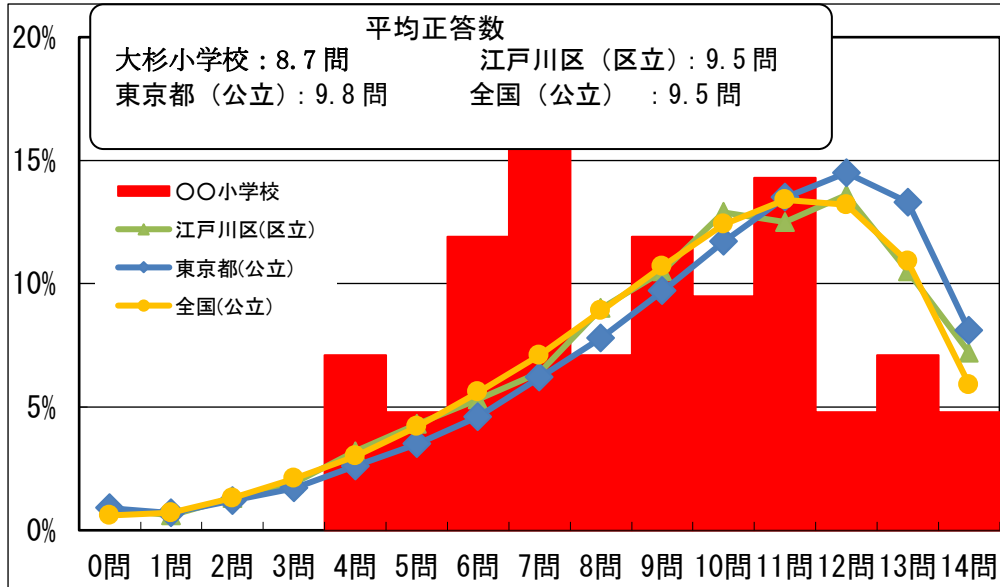


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】大杉小学校

正答数分布



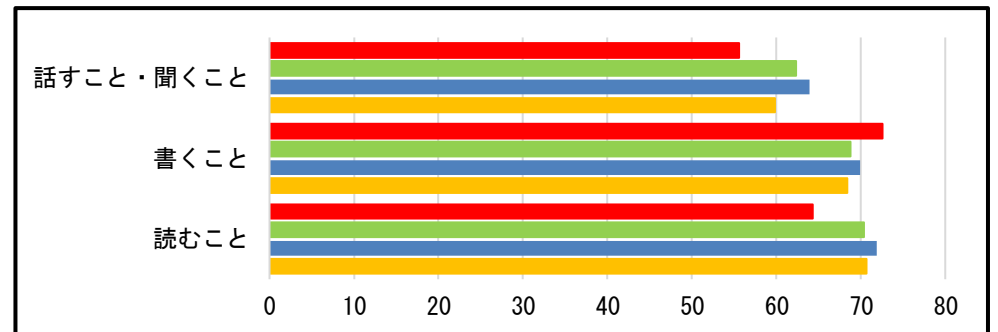
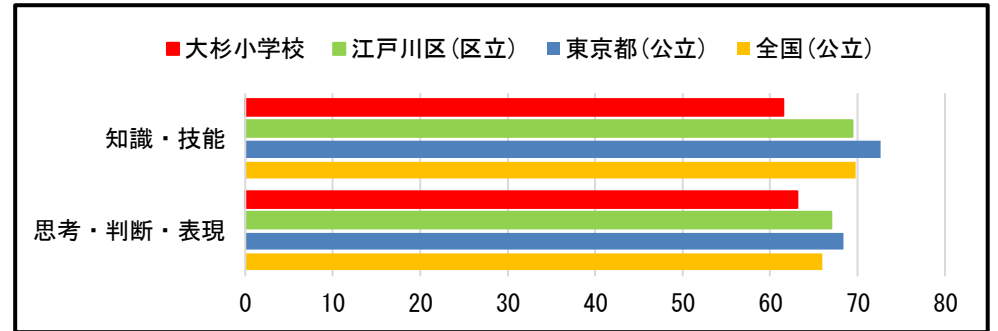
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12～14問	B層 10～11問	C層 8～9問	D層 0～7問
大杉小学校	16.7	23.8	19.0	40.5
江戸川区（区立）	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都（公立）	35.9	25.2	17.5	21.4
全国（公立）	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

大杉小学校	62%
江戸川区（区立）	68%
東京都（公立）	70%
全国（公立）	67.7%
都との差	-8%

%

【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】

- ・D層が40.5%と東京都と比べ約2倍となっている。
 →問題別調査結果から、言語に関する「知識」が東京都と比べ10%以上下回っている。そのため、知識を活用して記述する問題も正答率が低い。

【授業改善】

- ・国語の基礎基本（特に言語）を毎時間授業の中で扱い、少しずつ「知識」として身に付けさせていく。